

2005年3月期 中間決算説明資料

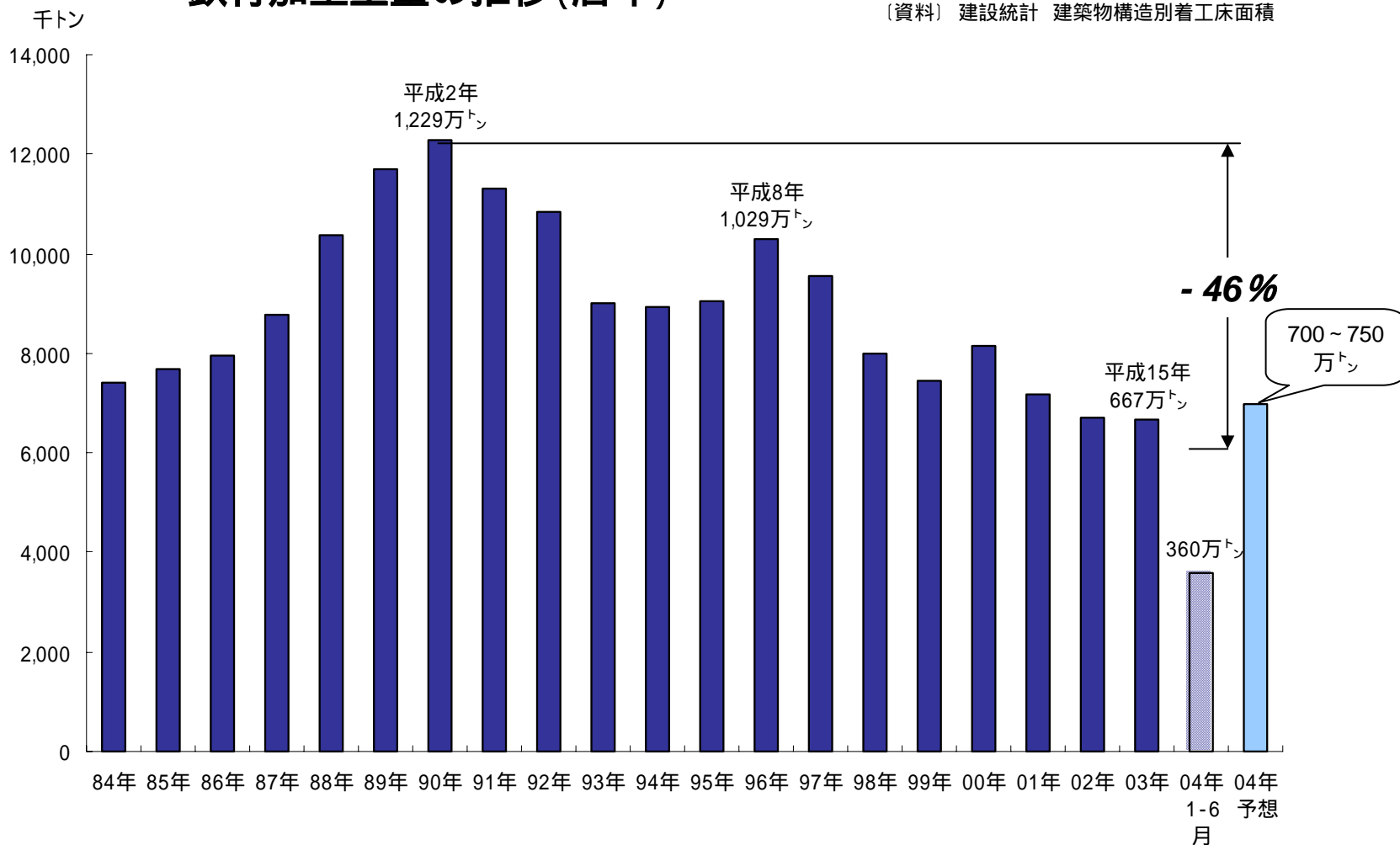
2004年12月
フルサト工業株式会社

当資料に記載されている当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。従いまして、実際の業績は様々な要因の変化により、記載の見通しと異なる結果となる場合があります。このため、これらの業績見通しに全面的に依拠して投資判断されることは、お控えいただきますようお願いいたします。

1. 当中間期の事業環境

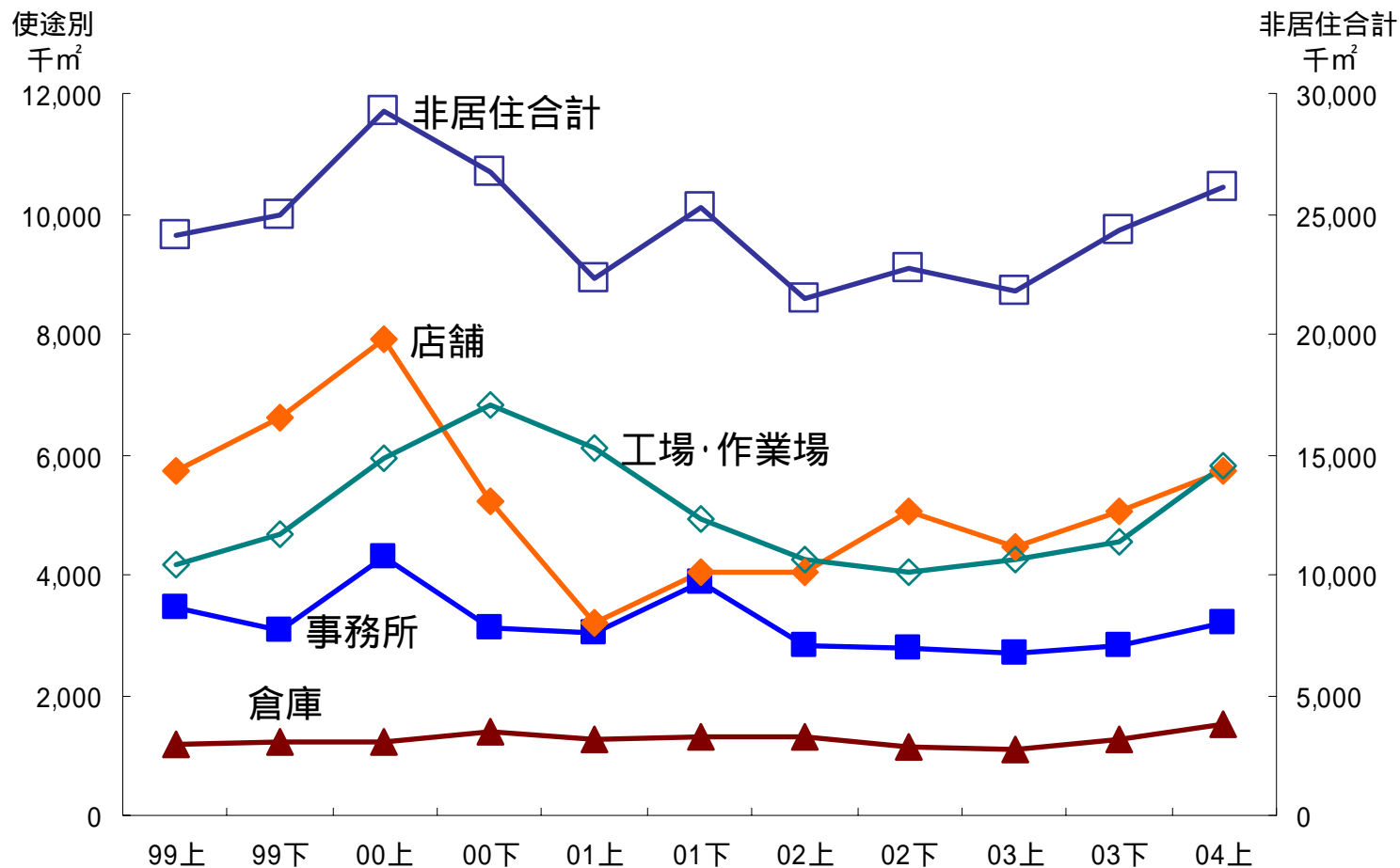
鉄骨加工重量の推移(暦年)

(資料) 建設統計 建築物構造別着工床面積



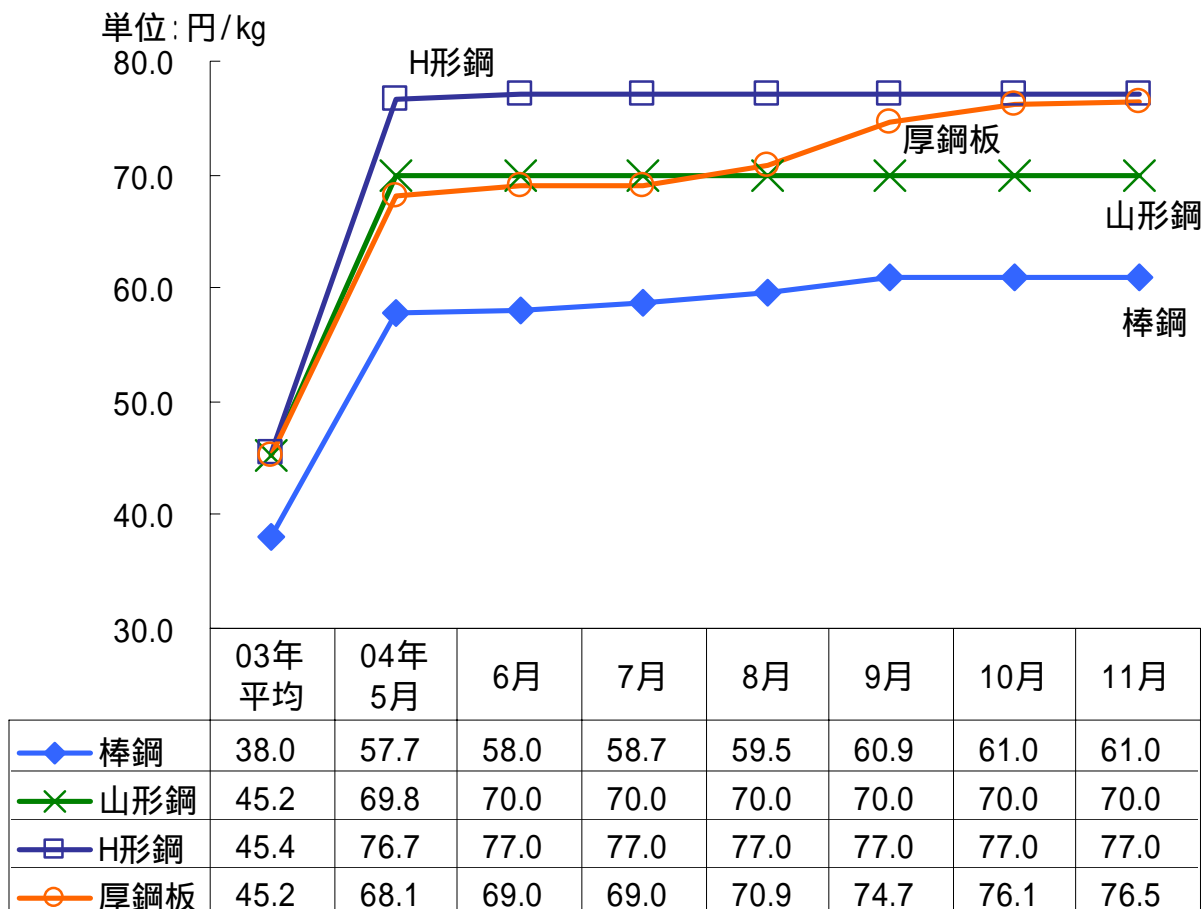
鉄骨非居住着工床面積(用途別)の推移

(資料) 建設統計 建築物非居住着工床面積



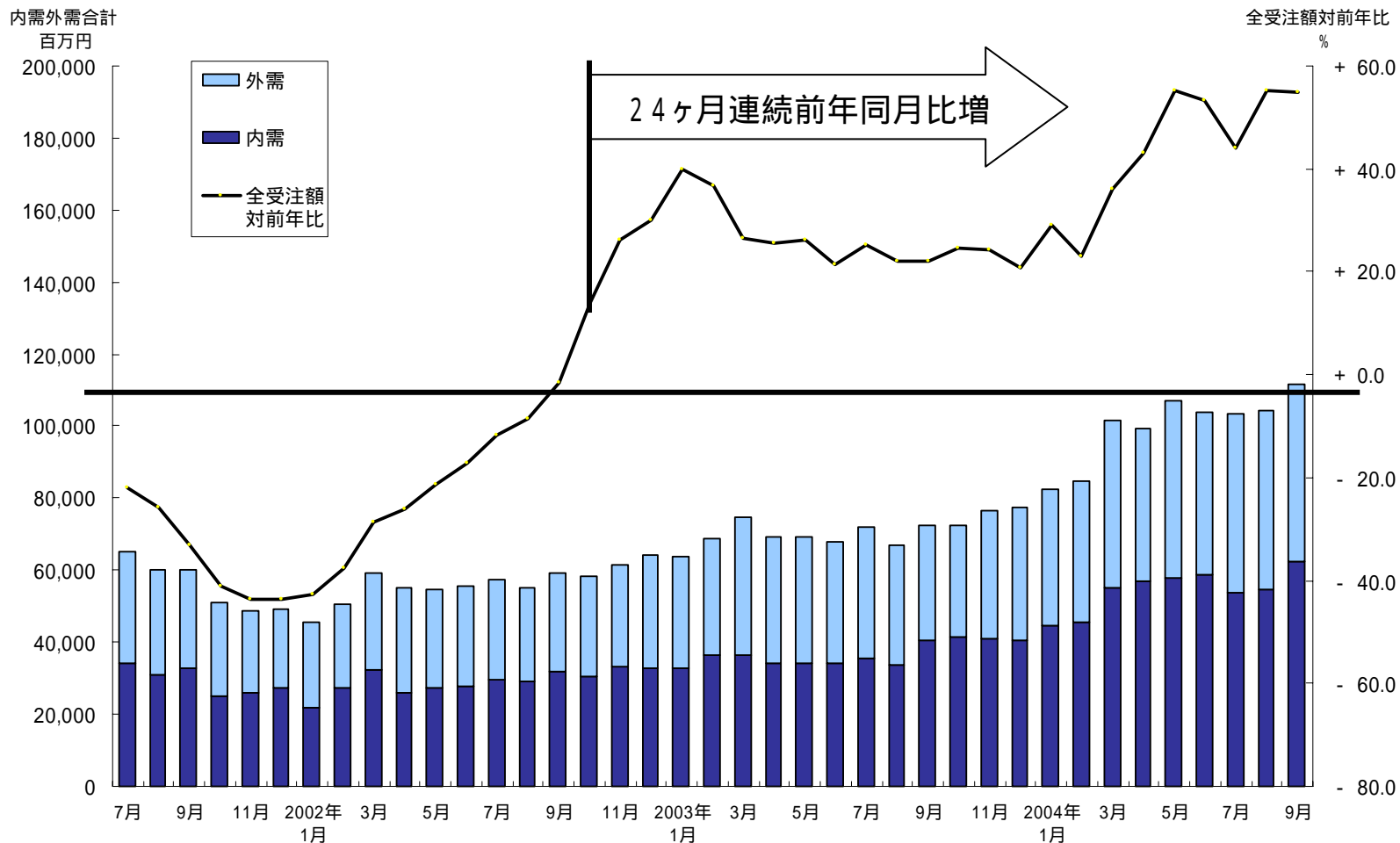
鉄鋼製品単価の推移

〔資料〕 日経商品指数



工作機械月別受注額の推移

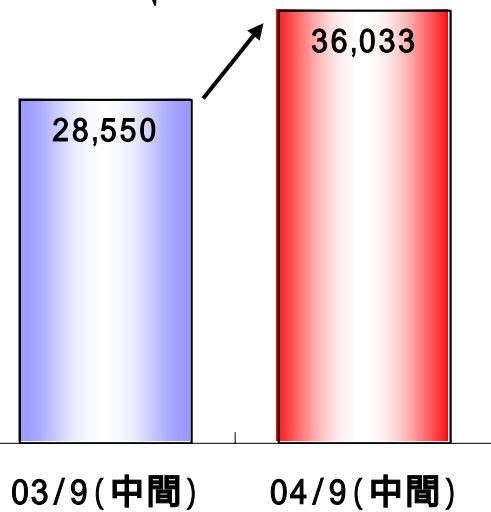
(資料) 日本工作機械工業会



2. 当中間期の連結業績

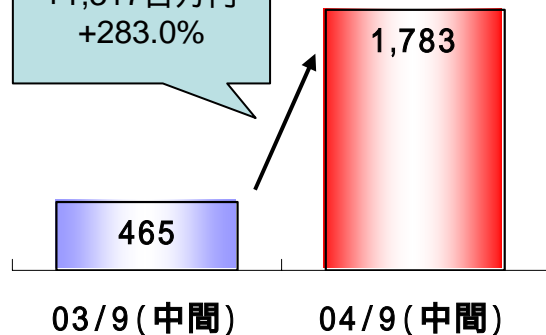
売上高

+7,482百万円
+26.2%



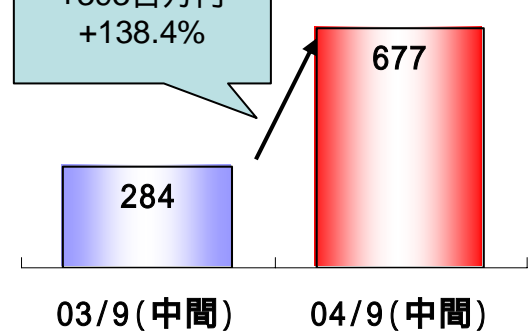
営業利益

+1,317百万円
+283.0%



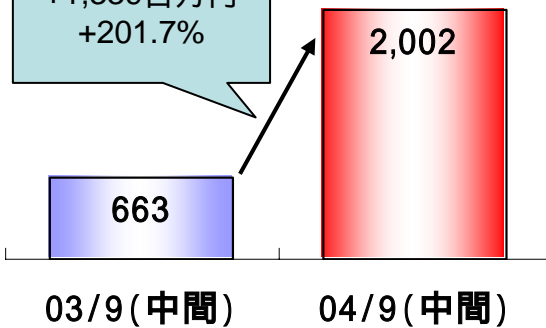
中間純利益

+393百万円
+138.4%



経常利益

+1,339百万円
+201.7%



1株当たり中間純利益

前中間期 17.50円 → 当中間期 43.67円

	03 / 9 (中間)		04 / 9 (中間)		増減額 (百万円)	増減率
	(百万円)	(構成比)	(百万円)	(構成比)		
売上高	28,550	100.0%	36,033	100.0%	7,482	26.2%
売上総利益	4,281	15.0%	5,582	15.5%	1,300	30.4%
販管費	3,816	13.4%	3,799	10.5%	17	0.4%
営業利益	465	1.6%	1,783	4.9%	1,317	283.0%
営業外損益	198	0.7%	219	0.6%	21	10.9%
経常利益	663	2.3%	2,002	5.6%	1,339	201.7%
特別利益	24	0.1%	120	0.3%	95	393.5%
特別損失	91	0.3%	635	1.8%	544	596.9%
中間純利益	284	1.0%	677	1.9%	393	138.4%

Point 1

売上高の増加に加え、値上
の実施により売上総利益率
は0.5ポイント上昇

Point 2

荷造運賃及び給与手当賞
与が増加

不良債権発生額の減少に
より貸倒引当金繰入額が
1.08億円減少

Point 3

減損会計早期適用により
5.79億円発生

退職給付引当金繰入額が
減失

ゴルフ会員権貸倒引当金
繰入額発生

フルサト工業

	03 / 9 (中間)		04 / 9 (中間)		増減額 (百万円)	増減率
	(百万円)	(構成比)	(百万円)	(構成比)		
売上高	8,126	100.0%	10,060	100.0%	1,933	23.8%
売上総利益	2,144	26.4%	2,818	28.0%	673	31.4%
販管費	1,844	22.7%	1,911	19.0%	67	3.6%
営業利益	300	3.7%	907	9.0%	606	201.8%
営業外損益	52	0.7%	99	1.0%	46	87.0%
経常利益	353	4.4%	1,006	10.0%	652	184.6%
特別利益	-	-	58	0.6%	58	-
特別損失	-	-	587	5.8%	587	-
中間純利益	174	2.1%	112	1.1%	62	35.7%

ジーネット

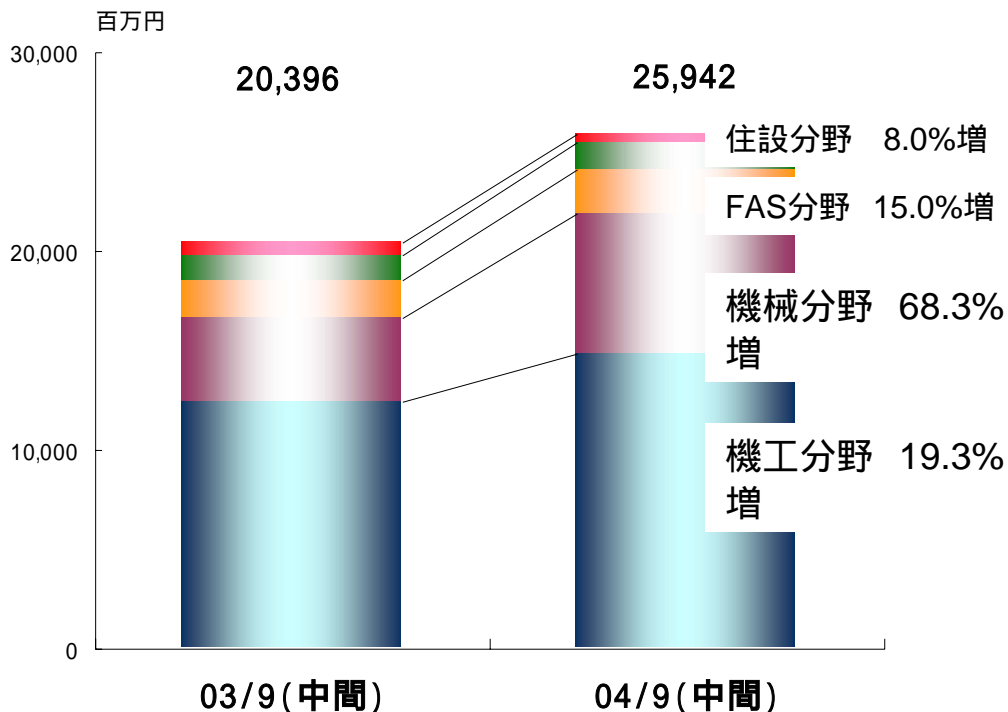
	03 / 9 (中間)		04 / 9 (中間)		増減額 (百万円)	増減率
	(百万円)	(構成比)	(百万円)	(構成比)		
売上高	20,600	100.0%	26,143	100.0%	5,542	26.9%
売上総利益	2,125	10.3%	2,748	10.5%	623	29.3%
販管費	1,948	9.5%	1,904	7.3%	44	2.2%
営業利益	176	0.9%	844	3.2%	667	379.1%
営業外損益	146	0.7%	167	0.6%	20	13.7%
経常利益	323	1.6%	1,011	3.9%	688	212.9%
特別利益	24	0.1%	61	0.2%	37	153.3%
特別損失	91	0.4%	47	0.2%	43	47.9%
中間純利益	123	0.6%	579	2.2%	456	370.0%

売上高及び営業利益

	03 / 9 (中間) (百万円)	04 / 9 (中間) (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
(売上高)				
機械工具部門	20,396	25,942	5,545	27.2%
鉄骨建築関連資材部門	5,939	7,448	1,508	25.4%
鉄骨建築関連部材部門	2,177	2,608	430	19.8%
その他の部門	36	34	1	3.8%
売上高合計	28,550	36,033	7,482	26.2%
(営業利益)				
機械工具部門	161	829	667	412.5%
鉄骨建築関連資材部門	288	679	391	135.9%
鉄骨建築関連部材部門	12	227	215	1,751.9%
その他の部門	2	2	0	17.6%
営業利益合計	465	1,783	1,317	283.0%

機械工具部門

製造業全体における需要の回復と、老朽化工作機械の
中小企業への更新需要の拡大により好調に推移



Point 1

バブル期に導入された工作機械の更新需要が前期の大企業から今期中小企業へ広がりを見せたことにより引き続き好調を持続

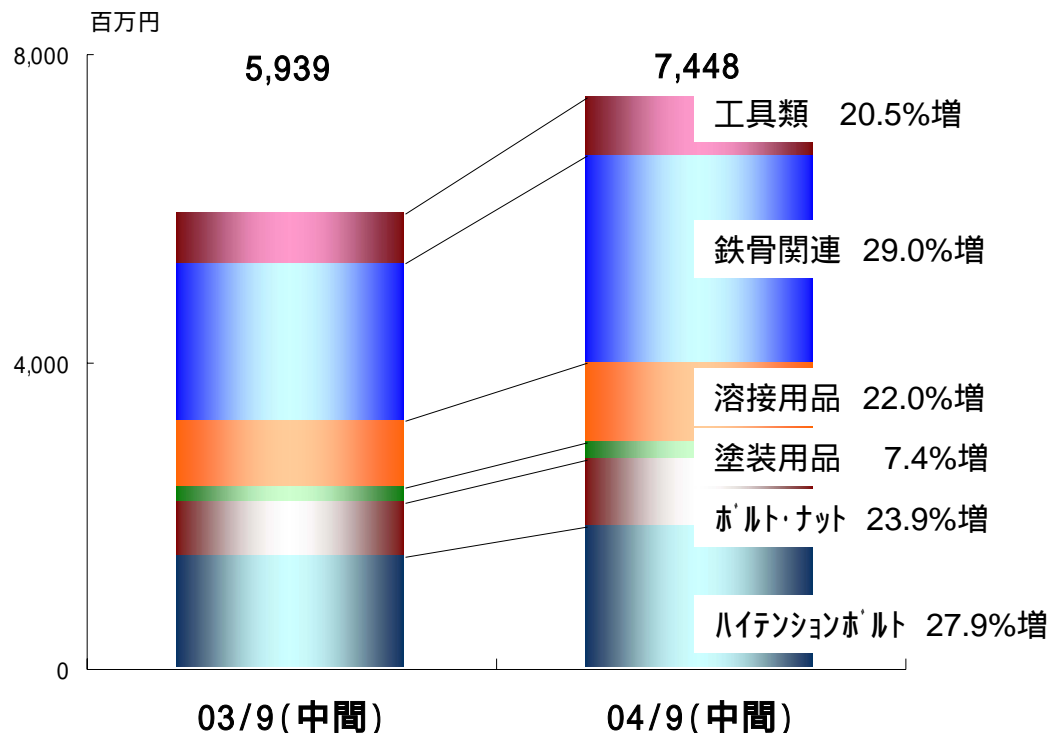
Point 2

シェアアップのための取扱メーカー増加や在庫充実等の政策が需要の回復と合致した

	機工分野	機械分野	FAシステム分野	住設分野	その他	合計
03/9(中間)	12,425	4,212	1,926	1,270	562	20,396
04/9(中間)	14,822	7,088	2,215	1,371	443	25,942
増減率	19.3%	68.3%	15.0%	8.0%	-21.1%	27.2%

鉄骨建築関連 資材部門

設備投資の増加により工場、倉庫物件が好調を継続
個人消費の回復に伴ない大型店舗を中心に動き出す



Point 1

販促企画の実施、大型機械の成約増、CAD販売の回復により好調に推移

Point 2

鋼板加工品を中心とした値上と管工機材類の増加により売上増となった

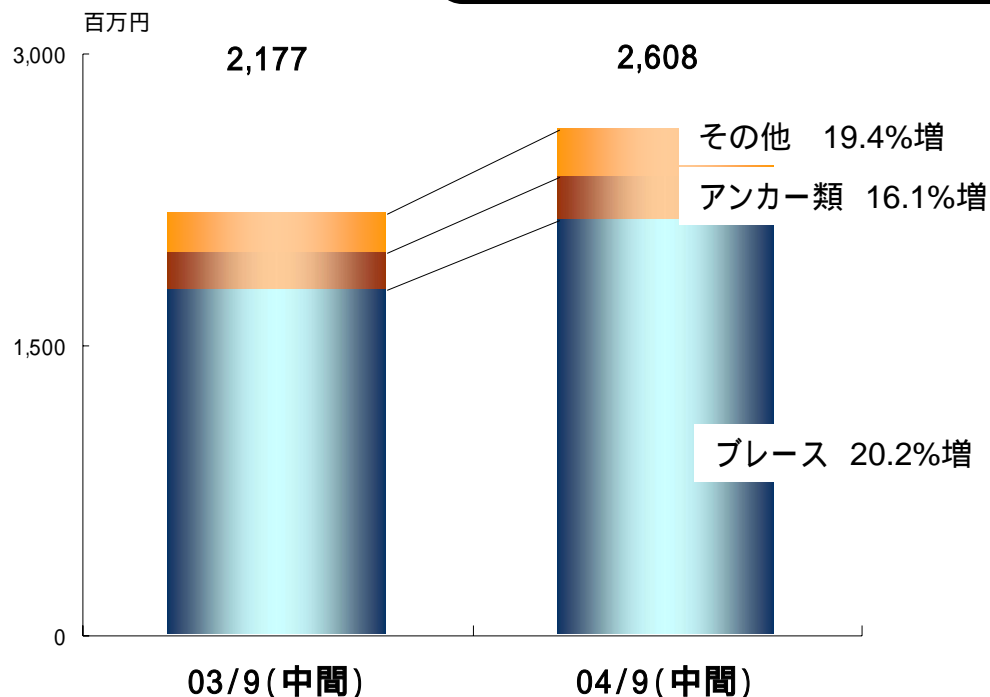
Point 3

底堅い需要を背景に値上の実施とシェアの確保により大幅増となる

	ハイテン	ボルトナット	塗装用品	溶接用品	鉄骨関連	工具類	合計
03/9(中間)	1,450	700	215	853	2,073	645	5,939
04/9(中間)	1,855	867	231	1,041	2,674	777	7,448
増減率	27.9%	23.9%	7.4%	22.0%	29.0%	20.5%	25.4%

鉄骨建築関連 部材部門

工場、倉庫物件に対する設備投資の増加により
プレースの需要が大きく影響を受ける



Point 1

建築構造用アンカーボルトの認知度向上に伴ない販売量が増加

Point 2

販売重量は大型物件の増加等により前年同期比11%増

原材料価格上昇に伴ない値上を実施

	プレース	アンカー類	その他	合計
03/9 (中間)	1,782	187	207	2,177
04/9 (中間)	2,141	218	248	2,608
増減率	20.2%	16.1%	19.4%	19.8%

資産の部

	04 / 9 (中間) (百万円)	04 / 3 (期末) (百万円)	増減額 (百万円)
流動資産	26,541	23,644	2,896
現金及び預金	3,434	2,507	926
受取手形及び売掛金	18,292	17,596	695
有価証券	99	99	0
たな卸資産	3,269	3,012	256
繰延税金資産	266	273	7
その他	1,356	328	1,028
貸倒引当金	176	173	2
固定資産	11,912	12,641	728
有形固定資産	8,844	9,462	618
無形固定資産	234	271	36
投資その他の資産	2,833	2,907	73
資産合計	38,454	36,286	2,168

Point 1

短期借入金により現金及び預金が
9.26億円増加

期間売上高の増加等により受取手形
及び売掛金が6.95億円増加

手形債権流動化による一部支払保
留分を今期より未収入金での処理に
よりその他流動資産が10.28億円増
加

Point 2

減損会計早期適用により土地が
5.79億円減少

Point 3

投資有価証券一部売却及び時価
評価により2.62億円減少

減損会計適用等により繰延税金
資産が1.3億円増加

	03 / 9 (中間) (百万円)	04 / 9 (中間) (百万円)	増減額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	232	445	213
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,100	50	1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	245	1,414	1,168
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
現金及び現金同等物の増加額	1,087	918	2,005
現金及び現金同等物の期首残高	2,598	2,507	90
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,511	3,425	1,914

Point 1

営業活動に使用されたキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益14.87億円を計上、売上高増加による売上債権が6.38億円増加、手形債権流動化等による未収入金が10.21億円増加、法人税等の支払額9.32億円等により4.45億円となりました。

Point 2

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、定期預金の預け入れによる支出1.08億円、投資有価証券売却による収入2.05億円、有形固定資産取得による支出1.15億円等により0.5億円となりました。

Point 3

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、短期借入金15億円の増加等により14.14億円となりました。

平成16年11月15日開催の取締役会におきまして、株主の皆様への利益還元重視の姿勢をより明確にするため、配当に関する基本方針を改め、発表いたしました。

1. 当期より連結業績に連動した利益配分に基づき配当することといたします。
2. 配当性向20%程度を基本とし、最低年間10円の安定配当に努めます。

今回の変更により、当中間配当及び期末配当予想を修正しました。

1株当たり中間配当金	10円	(5円増配)
1株当たり期末配当予想	10円	(5円増配)

連結中間期実績

設備投資額 121 百万円

減価償却額 170 百万円

単独推移(フルサト工業)

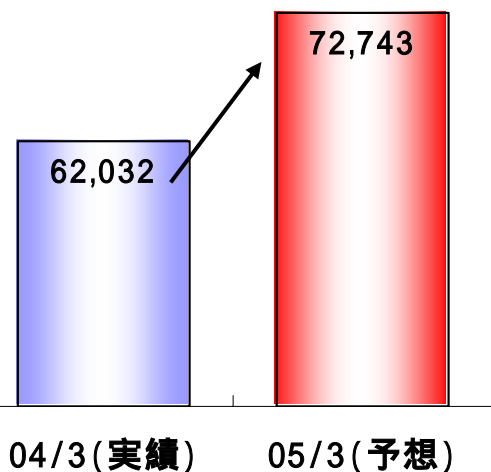
	01 / 3 (通期) (百万円)	02 / 3 (通期) (百万円)	03 / 3 (通期) (百万円)	04 / 3 (通期) (百万円)	04 / 9 (中間) (百万円)
減価償却額	330	304	283	292	138
固定資産 純投資額	129	64	273	1,867	94
主な内訳	・群馬営業所改修工事 ・滋賀工場機械設備	・富山事業所機械設備 (アンカーボルトライン)	・千葉営業所改修工事 ・香川、埼玉製造ライン ・CTシステム ・工場システム ・不動産取得手付金	・本社ビル取得 ・ジ-ネット東京支社取得 ・ジ-ネット大流センター取得 ・製造ライン改善(滋賀、 久留米、富山、宇都宮)	・ジ-ネット大流センター改修 ・大阪支店改修 ・製造設備(久留米、 埼玉、滋賀、富士)

3 . 通期の連結業績見通し

売上高

+10,710百万円
+17.3%

百万円



営業利益

百万円

+1,843百万円
+117.0%

1,575

3,418

04/3 (実績)

05/3 (予想)

経常利益

百万円

+1,840百万円
+91.9%

2,003

3,844

04/3 (実績)

05/3 (予想)

当期純利益

百万円

+934百万円
+120.1%

778

1,713

04/3 (実績)

05/3 (予想)

1株当たり純利益予想

前期
47.83円



当期
109.13円

	04 / 3		05 / 3 予想 (期初)		05 / 3 予想 (修正後)		対期初 予想比
	(百万円)	(増減率)	(百万円)	(増減率)	(百万円)	(増減率)	
売上高	62,032	19.6%	64,972	4.7%	72,743	17.3%	12.0%
営業利益	1,575	-	2,039	29.4%	3,418	117.0%	67.7%
経常利益	2,003	374.4%	2,414	20.5%	3,844	91.9%	59.2%
当期純利益	778	-	1,317	69.2%	1,713	120.1%	30.1%
1株当たり当期純利益	47.83	円	83.55	円	109.13	円	

	2004年3月期			2005年3月期					
	上期実績 (百万円)	下期実績 (百万円)	通期実績 (百万円)	上期実績		下期計画		通期計画	
				(百万円)	伸率	(百万円)	伸率	(百万円)	伸率
売上高	28,550	33,481	62,032	36,033	26.2%	36,709	9.6%	72,743	17.3%
営業利益	465	1,109	1,575	1,783	283.0%	1,635	47.4%	3,418	117.0%
経常利益	663	1,339	2,003	2,002	201.7%	1,841	37.4%	3,844	91.9%
当期純利益	284	494	778	677	138.4%	1,035	109.6%	1,713	120.1%

フルサト工業

	2004年3月期			2005年3月期					
	上期実績 (百万円)	下期実績 (百万円)	通期実績 (百万円)	上期実績		下期計画		通期計画	
				(百万円)	伸率	(百万円)	伸率	(百万円)	伸率
売上高	8,126	9,111	17,238	10,060	23.8%	10,257	12.6%	20,318	17.9%
営業利益	300	519	819	907	201.8%	849	63.7%	1,757	114.3%
経常利益	353	601	955	1,006	184.6%	934	55.4%	1,941	103.2%
当期純利益	174	241	415	112	-35.7%	525	117.8%	638	53.5%

ジーネット

	2004年3月期			2005年3月期					
	上期実績 (百万円)	下期実績 (百万円)	通期実績 (百万円)	上期実績		下期計画		通期計画	
				(百万円)	伸率	(百万円)	伸率	(百万円)	伸率
売上高	20,600	24,518	45,119	26,143	26.9%	26,602	8.5%	52,746	16.9%
営業利益	176	587	764	844	379.1%	749	27.6%	1,594	108.6%
経常利益	323	750	1,074	1,011	212.9%	917	22.2%	1,929	79.6%
当期純利益	123	265	389	579	370.0%	522	96.6%	1,102	183.3%

4. 今後の方向性

継続的な成長軌道の構築

Furusato

鉄骨建築関連資材部門
&
鉄骨建築関連部材部門

株式会社シーネット

機械工具部門

安定的な収益基盤の維持・伸長

キャッシュ・フロー エンジン

安定収益の
コア部分

+

新たな
収益の柱

高いマーケットシェア = 資金需要小

近い業界へ

販売シェアの積極拡大

業歴、知名度

ボリューム
の獲得

保守的な業界 = 変化が少ない

積極投資による差別化

Furusato

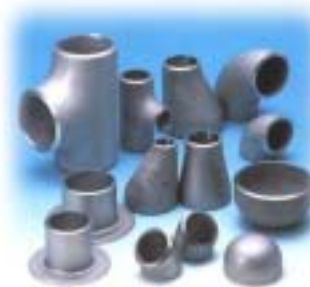
鉄骨建築関連資材部門

安定的収益基盤の伸長戦略

プラント配管業界への進出

選定理由

初期投資 極めて小さい
マーケット 比較的大きい
参入障壁 高くはない



中期目標

●鉄骨建築関連両部門売上高(=フルサト単独)の10%
年間20億円(月間1億7千万円)

今期の状況

上期実績

504百万円

下期計画

610百万円

通期予想

1,114百万円 (進捗率 55.7%)

株式会社シーネット

機械工具部門

販売シェア・アップによる売上・利益拡大戦略

機械工具部門において外的要因による変動が小さい機工分野のボリューム・アップを図る

目標指標

- 機工分野の売上総利益で機械工具部門全体の販売費及び一般管理費をまかなう

基本施策

- エンドユーザーDBを利用したUser centric Commerce手法の構築
- 流通センター機能強化によるロジスティクス体制の充実
- コア分野の掘り下げによる独自の強みの確立

今期の状況

上期実績

全販管費:1,904百万円 - 機工粗利益:1,539百万円 = 364百万円

下期計画

全販管費:1,881百万円 - 機工粗利益:1,560百万円 = 321百万円

通期予想

685百万円

目標値

全販管費

38億円



機工売上高 350億円(05予想比17%増)

機工売上総利益率 11.0%(同0.7ポイント増)

機工売上総利益 38億5千万円